

イノテック株式会社 個人投資家向け会社説明会

2026/08/25

代表取締役 専務執行役員
棚橋 祥紀



会社概要

商号

イノテック株式会社

設立

1987年1月5日

資本金

105億17百万円

本社

神奈川県横浜市港北区新横浜 3 丁目17番 6 号

従業員数

1,620名（連結） 211名（単体） ※2026年3月31日現在

グループ企業

三栄ハイテックス、ガイオ・テクノロジー、アイティアアクセス、レグラス、
モーデック、ファイ・マイクロテック、ネットビジョン、STAr Technologies

株式市場

東証プライム（証券コード：9880）

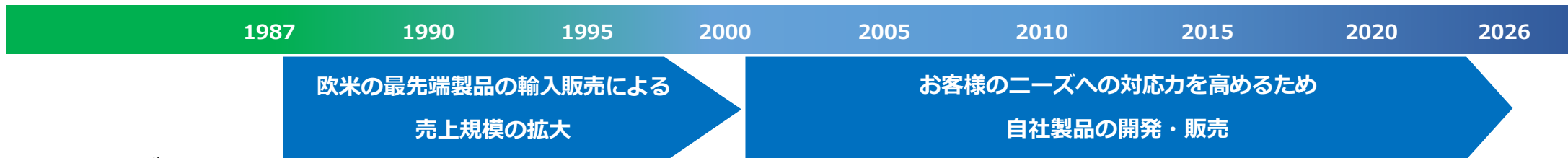
決算日

3月31日

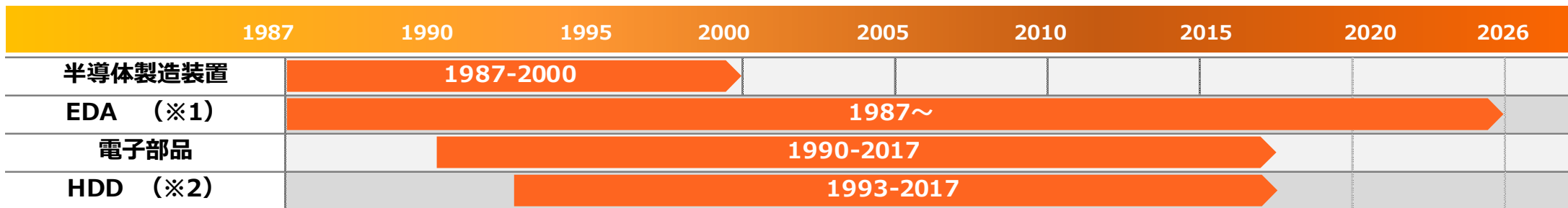
1. 事業概要

事業変遷

●事業戦略の変遷



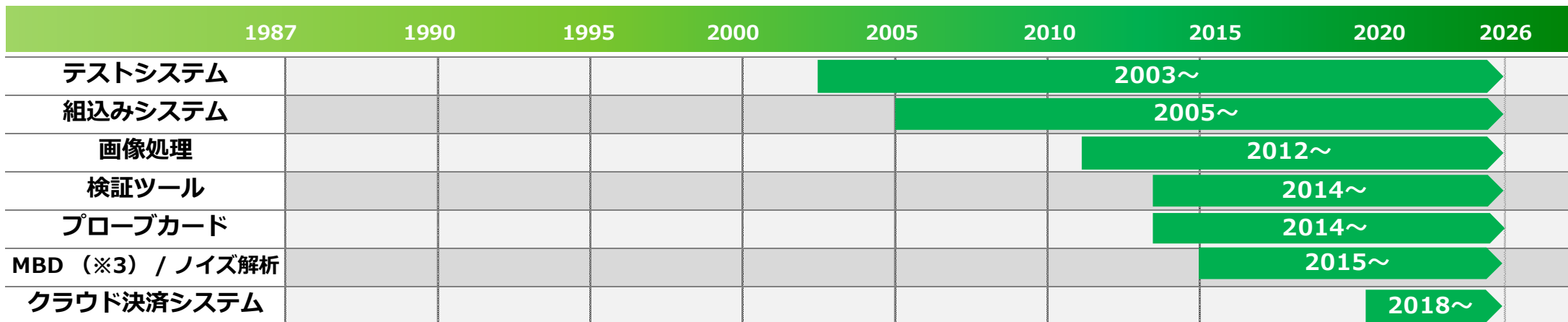
●商社ビジネス



※1 半導体設計ツール

※2 ハードディスクドライブ（大容量記録媒体）

●自社製品ビジネス



※3 Model Based Development



中核事業

テストソリューション事業

半導体のテストに関わる事業。
テスターや信頼性評価装置、プローブカードの開発・販売など。

テストシステム



プローブカード

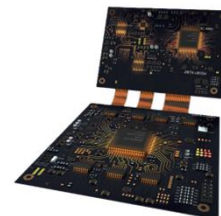


安定事業

半導体設計関連事業

半導体デバイスの設計に関わる事業。
EDAソフトウェアの販売、半導体の設計受託や技術者派遣など。

EDAソフトウェア



LSI設計・受託開発



成長事業

システム・サービス事業

エレクトロニクスや自動車などのお客様に付加価値を提供する。
組み込みシステムやソフトウェアの開発・販売、受託サービスなど。

組み込みシステム



クラウド決済システム

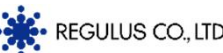


エンジニアリングサービス



事業内容：イノテックのビジネスとは

イノテックは、半導体、自動車、産業機器などの製造プロセスに**ハードウェア**、**ソフトウェア**、**コンサルティングサービス**を提供する**トータルソリューション・カンパニー**

⚙️ 設計・開発		🔍 試作・検証		🏭 量産・システム化	
半導体関連	 EDAソフトウェア・設計サービス	 信頼性評価装置・プローブカード			
	 LSI設計・受託開発				
	 シミュレーションモデル開発				
	 Φ PHi microTech 高速アナログIC開発				
システム・サービス	 モデルベース開発支援・ノイズ解析	 組込みソフトウェア検証ツール		 エッジコンピューター	
		 NetVision 映像インターフェースボード・システム製品開発		 IT Access® クラウド決済システム・ソフトウェア全般	
				 REGULUS CO., LTD. AIカメラシステム・画像処理・受託開発	

2. 直近の業績・財務動向と今期見込み

2027年3月期第1四半期 実績

(単位：百万円)

2027年3月期第1四半期 実績（連結）		前期実績
売上高	13,996（前年同期比 48.0%増）	9,457
営業利益	1,608（同 584.7%増）	234
経常利益	1,714（同 320.7%増）	407
当期純利益	1,206（同 549.7%増）	185

(単位：百万円)

セグメント別 売上実績		前期実績
テストソリューション事業	6,179（前年同期比 131%増）	2,671
半導体設計関連事業	3,719（同 13%増）	3,278
システム・サービス事業	4,097（同 17%増）	3,507

2027年3月期 通期予想

(単位：百万円)

2027年3月期 通期予想		前期実績
売上高	51,000 (前期比 9%増)	46,737
営業利益	4,000 (同 29%増)	3,108
経常利益	4,000 (同 37%増)	2,912
当期純利益	5,000 (同 22%増)	4,111

(単位：百万円)

セグメント別 通期予想		前期実績
テストソリューション事業	20,300 (前期比 10%増)	18,456
半導体設計関連事業	14,500 (同 6%増)	13,729
システム・サービス事業	16,200 (同 11%増)	14,551

2027年3月期 通期予想のポイント

連結売上高 : 前期比 **9%増**
連結営業利益 : 前期比 **29%増**

テストソリューション事業は海外向け製品の需要継続に加え、国内の需要回復が追い風となり大幅な増収増益を見込む

半導体設計関連事業はEDAを中心に堅調で増収を見込む

システム・サービス事業は自動車産業低迷の影響を受けつつも高い収益基盤を維持、組込みシステムの好調もあり増収増益の見通し

2027年3月期 事業別売上予想

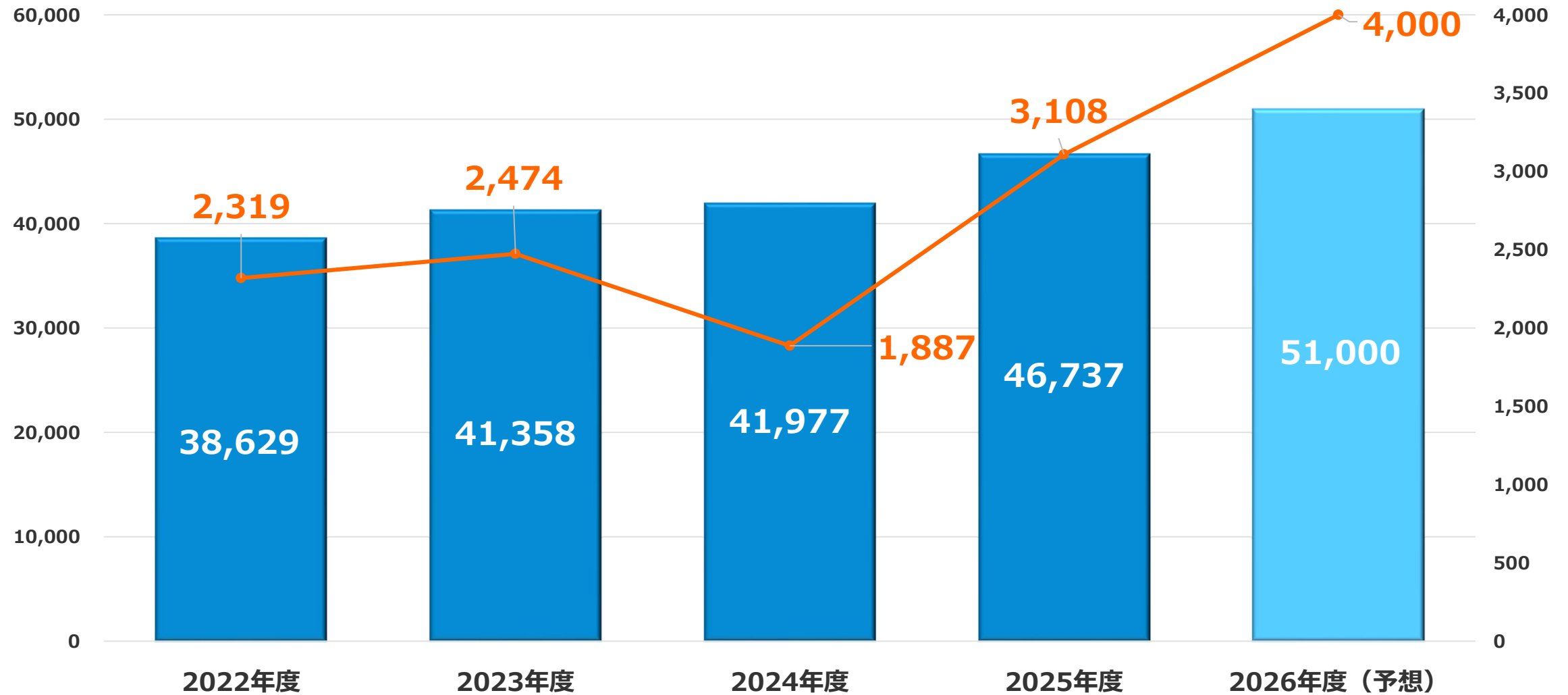
(単位：百万円)

	26年/3月期	27年/3月期（予想）	前期比
テストソリューション	18,456	20,300	10%
テスター	4,250	6,900	62%
STAr Technologies	14,206	13,400	-6%
半導体設計関連	13,729	14,500	6%
EDA 他	9,619	10,400	8%
三栄ハイテックス	3,899	3,500	-10%
モーデック	210	600	186%
システム・サービス	14,551	16,200	11%
組込みシステム 他	3,873	6,150	59%
アイティアクセス	5,444	5,700	5%
ガイオ・テクノロジー	4,741	3,750	-21%
レグラス	491	600	22%
売上高合計	46,737	51,000	9%

業績の推移

売上高（百万円）

営業利益（百万円）



テスター事業：「顧客最適化モデル」で高シェアを獲得 ～AI関連需要と国内・海外の需要回復を背景に成長加速～

当社テスター事業の強み：顧客最適化モデル

- FPGA活用の独自設計により、多DUT化・省電力・小型化など顧客ニーズへ迅速対応
- 国内主要顧客で培った高シェアと信頼関係を基盤に海外顧客へ展開拡大

足元の成長ドライバー：国内回復×海外拡大×AI需要

- 生成AI向け大容量SSD需要の拡大を背景に、メモリ関連投資が高水準で推移
- 海外主要顧客向けテスターの出荷が本格化し、顧客の能力増強投資を背景に売上へ貢献
- 26/3期Q4から国内主要顧客の設備投資が回復

将来の成長フロンティア：主力テスター分野で培った強みを新領域へ展開

- 主力テスター分野で培った開発ノウハウを活かし、DRAM・イメージセンサー向けテスターへ展開、28/3期の量産化を目指す



組込みシステム事業：防衛・船舶等の安定需要に加え、 AIデータセンター向けの計測器・SSD需要が急拡大

追い風

AIデータセンター・SSD需要が拡大

- データセンター建設ラッシュに伴い、**サーバー関連の計測器向け**や**大容量SSD関連向けの産業用PC需要**が大きく伸長。
- 24時間365日稼働を支える**高信頼性**と、電源回路設計からドライバ開発まで自社で完結する**技術力**、小型・ファンレス・省電力設計が評価され採用拡大。



安定成長

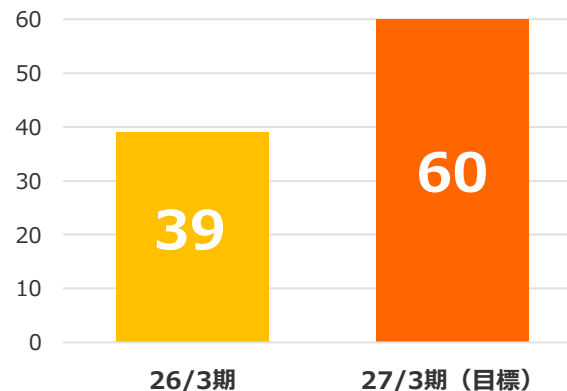
防衛・船舶分野が引き続き順調

防衛分野（中長期成長）

国策である防衛費増額に伴い、安定的な需要が継続。

船舶・産業機器

顧客の現場ニーズに密着した長期供給（5～8年）モデルでリピート受注を獲得。



- ✓ 26/3期は売上高39億円と高成長を達成し、収益性も改善傾向。
- ✓ 27/3期は**売上高60億円**の大台を目指す。

3. 中長期戦略

Vision

未来を変えテック、イノテック
～*INNOVATION TECHNOLOGY*～



Mission

- 最先端技術と人を繋ぎ、豊かで快適な未来社会に貢献する
- 顧客に寄り添い、ともに課題を解決する
- 「イノテックならではの」の付加価値の提供を目指す

中期経営計画（2024～2026年度）数値目標

基本的な考え方

株価/PBR上昇には収益性（ROEなど）と成長性（PER）双方の向上が必要

具体的目標

- ROE 10%を目指す（8%以上を維持）
- ROIC 8%を目指す（6%以上を維持）

業績の目安

- 連結営業利益の過去最高益（2007年度：33億32百万円）を更新
- 営業利益率 7～8%

中期経営計画（2024～2026年度）グループ共通の事業戦略

営業利益率向上

➤➤➤ 目標：7～8%

- ・各事業の成長と収益性改善
- ・業務効率改善のための施策（DX投資など）

経営資源の再分配による事業ポートフォリオの最適化

- ・成長分野への集中投資
- ・事業見直し並びにグループ再編

業績の安定性向上

- ・ストック型ビジネスの強化
- ・特定顧客依存からの脱却
- ・製品ラインナップの充実

中計事業戦略の進捗 ～テストソリューション事業～



NANDフラッシュメモリ向けを主軸としつつ、製品ラインナップを拡充

- DRAM対応テスターは、PoC（概念実証）から量産向け装置開発フェーズへ
- スマートフォンやIoT機器向けなど高速通信化が進むCMOSイメージセンサーに対応する画像処理基板開発強化



製品ポートフォリオの再編

- 低電圧～高電圧に対応する信頼性試験装置の“PLUTO”を中核に市場展開
- 先端プロセスに対応するMEMS型プローブカードやパワー半導体向け高耐圧プローブカードの開発

製品ポートフォリオの拡充と最適化

中計事業戦略の進捗 ～半導体設計関連事業～



グループ内外の連携強化により高付加価値ソリューションを提供

- ファイ・マイクロテックの子会社化により、シリコンフォトニクスや光電融合技術を獲得、ターンキービジネスにおいても多角的な提案が可能に

Φ PHi microTech

経営資源の集中



- 経営資源集中のため三栄ハイテックスは傘下のジェイ・エス・シーを一部事業切り出し後、4月に吸収合併

グループ経営の基盤を固める強固な安定収益

中計事業戦略の進捗 ～システム・サービス事業～



データセンター、物流等の活発市場中心にODM案件の強化を継続

- 組み込みボードは産業用PC中心に社会インフラ・半導体・防衛関連での進展を加速
- 世界初の“リチウムイオンキャパシタ内蔵による手間なしUPS付きFAPC”リリース

決済系の新規マーケット展開と新サービスの提供

- オフィスコンビニ、アイス自販機、駐車場など新規マーケットへ水平展開
- サイネージ動画、ポイント連携、ゲーム等の非決済サービスを合わせて提供し、収益の多層化狙う

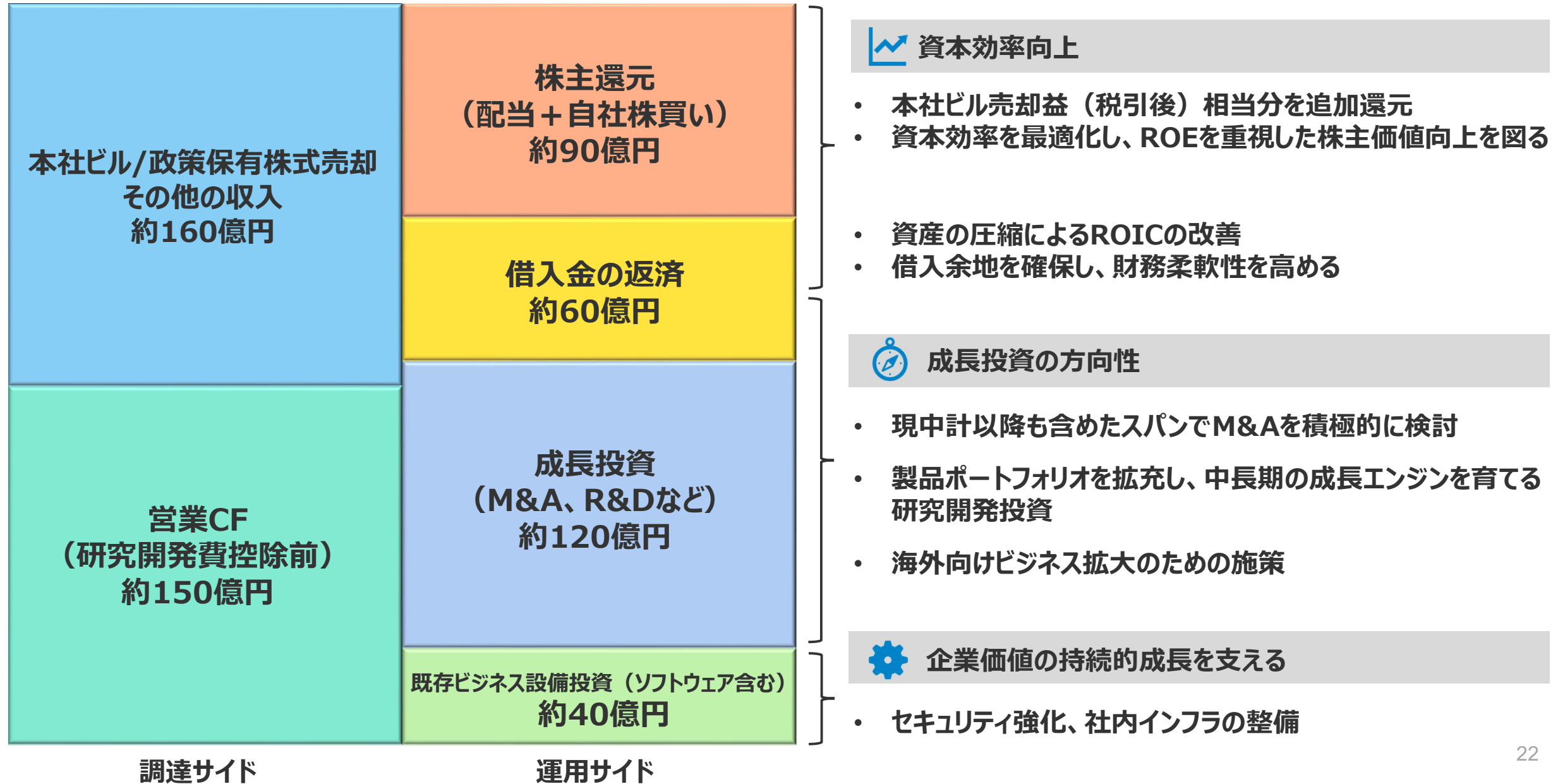


自動車業界の変革に適応するマーケティングとビジネス拡大

- 自動車IVI向けソリューション強化にSeafarix社（FIN）と戦略的業務提携
- ソフトウェア開発時に有効な業務効率化ツールを企画・開発中

マスカスタマイゼーション&パーソナライゼーション

財務戦略（2024～2026年度）成長戦略と株主還元を重視したキャピタルアロケーション



成長戦略 ～成長投資の方向性～

M&A

- 短期的なシナジー効果に捉われない
- ニッチ領域において技術的存在感を持つ企業への投資
- 成長市場の中核技術を担う企業への戦略的投資
(AI、画像処理、光電融合、解析、車載ソフト etc.)

R&D

- 次世代イメージセンサー向けテスターやDRAMテスターなど製品ポートフォリオ拡大のための開発投資
- 高精度計測機器開発やMEMS型プローブカード開発など重点領域で研究開発を加速
- エッジコンピューティング、エッジ顔認証などリアルタイム処理技術を駆使して付加価値創出

海外展開

- 出資を含めた海外パートナーとの提携
- 現地企業との合併でローカライゼーションを進め、グローバルな成長基盤を構築する

企業価値の
持続的向上



株主還元（配当＋自社株買い）

配当の状況

	中 間	期 末	通 期	配当性向
2026年3月期	35円	90円 (普通配当40) (特別配当50)	125円	39.0%
2027年3月期（予想）	90円 (普通配当40) (特別配当50)	40円	130円	32.6%

※本社ビル売却による特別利益計上に伴い、特別配当を実施。

※通常の利益に対しては連結配当性向30%を下回らないこととするが、急激な業績変化等がなければ50%程度を目安とする。

自己株式の取得状況

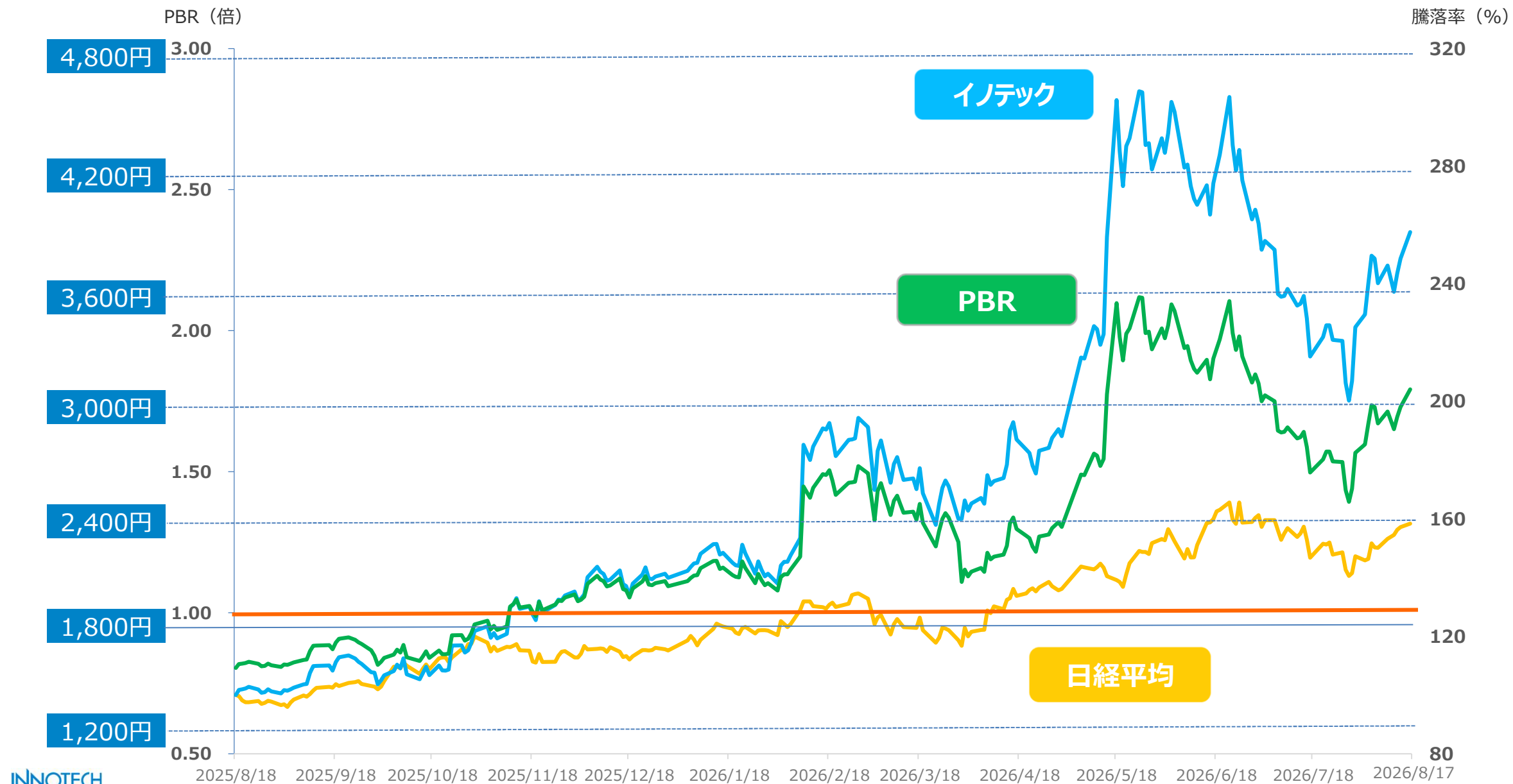
取得し得る株式の総数	:	1,000,000株（上限）
株式の取得価額の総額	:	2,500,000,000円（上限）
取得期間	:	2026年5月15日～12月31日

※2026年5月14日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。

2027年3月期（予想）の「配当性向」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しておりません。

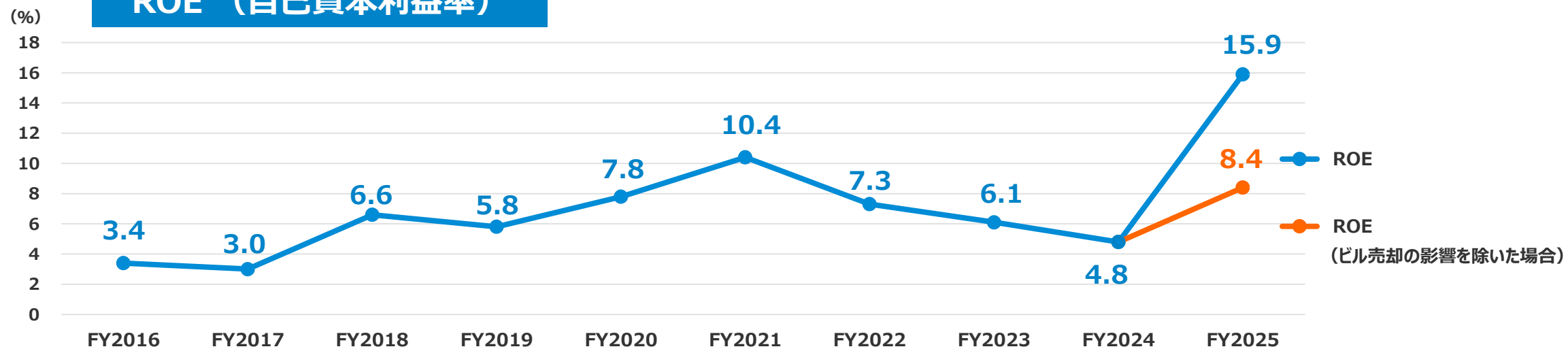


株価推移（直近1年間）

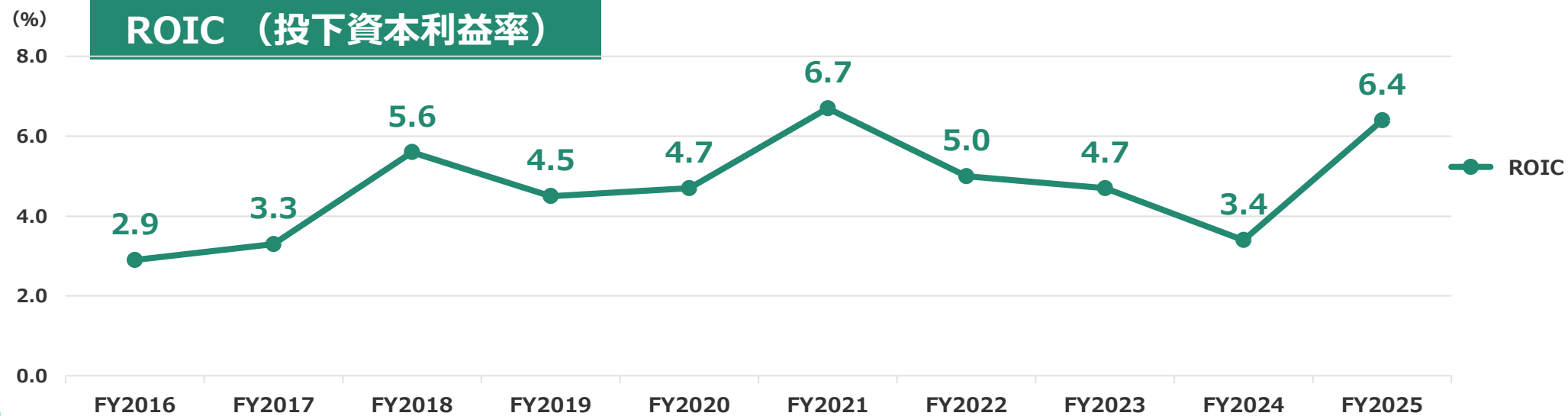


ROEとROICの推移

ROE（自己資本利益率）



ROIC（投下資本利益率）



将来の事象に関する記述についての注意

本プレゼンテーション資料が提供する情報には、当社の現時点における期待、見積および予測に基く記述が含まれています。

これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

イノテック株式会社 経営企画部

 045-474-9030

itc-investorrelations@innotech.co.jp